



みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
こばやし ゆうき
小林 優希

皆さま、こんにちは! 2021ミス日本「みどりの女神」の小林優希です。みどりの女神に選んでいただいたから1ヶ月が経ちましたが、早速十分すぎるくらいの経験をさせていただいています。

菅総理大臣に緑の羽根付けを実施

4月13日、菅義偉内閣総理大臣に緑の羽根を付けさせていただくため、春らしい新緑の色の着物で総理官邸に伺いました。

緑の羽根は、皆さまご存知の通り緑

の募金を募るシンボルです。より多くの方に緑の大切さを知っていただき、そして緑を守る活動にご協力いただくために、例年総理へ緑の羽根をお付けしています。

羽根付けのあとは、エリートツリーを熊本県産スギ材で作られた、オシャレなプランターケースに植樹していただきました。大きな木に成長していくことを願っています。

林業が盛んな宮城県登米市を視察

先日は宮城県登米市を視察しました。宮城県登米市といえば、5月17日からスタートする、NHKの連続テレビ小説『おかえりモネ』の舞台になっています。清原果耶さん演じるヒロイン・永浦百音が、登米市で林業や山林ガイドの見習いとして登場するのだとか。

登米市は約4割を森林が占めています。「登米材で溢れる町づくり」を目指し、登米市と登米町森林組合などで「登米市森林管理協議会」を立ち上げ、FSC森林認証を取得されたそうです。登米市産の木は、杉・赤松・栗・山桜・欅・小槲・柗の7種類。訪れたショッピングセンターやカフェでは積極的に地元産材が取り入れられていて、溢れる木のぬくもりに癒されました。

また、宮城県はCLT技術に力を入れている県です。実際にCLTの建設現場に伺い、緻密に計算され、繊細な作業が行われているところを視察しました。CLTが使用されている建物の丈夫さや、木目の壁が与える温かい印象に釘付けになりました。



▲登米市産の丸太の前で

その後、木工芸品や組手什を組み立てたり、木造建築物として国指定重要文化財となっている旧登米高等尋常小学校にて桜の植樹を行ったり、山の中で高性能林業機械を見学したりと、初めてのことに終始興奮していた私。中でも一番印象的だったのは、建築家・隈研吾さんが設計した森舞台という能の舞台です。屋外に佇み、風や陽の光を感じさせる自然と一体化された舞台が荘厳で美しく、心休まる場所でした。

私が慶應義塾大学の学生ということもあり、最終日は宮城県内にある慶應の森に案内していただきました。様々な方々に支えられ、滅多に得られない貴重な経験をするのが出来ました。今回学んだ森林や木材のことを、皆さまへ分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。



▲自然を感じる森舞台



▲慶應の森にて